

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report

# 4

2012 No.691

## 3 はじめの言葉

### 4 単純消費情報処理で進む

#### IT 製品の短命化と低価格化

田原文夫

情報システム関連商品の短命化が目立っているように思える。世の中デフレのせいで何でも値下がりし、企業の収益が増えない、だから従業員の給料が上がらずそのせいで経済不況が深刻になっているとされる。ところが、情報システム関連製品、最近では IT 関連製品という言い方が主流のようだが、これについての低価格化はどうも短命化と関係があるという指摘がある。周知のように最近の IT 関連の新製品は、スマートフォン、タブレット PC、そのまた関連のアクセサリ商品等が中心になっている。言わば、民需の中でも限りなく単純消費の情報処理に関連する商品を中核に開発競争が激化し、個人的な消費者が主流ということもあって、低価格化競争はますます促進されているようだ。次々に新機能が追加されるということも特徴だ。もう一つの特徴は、最早、部品／完成品を問わず、国内生産されているものはほとんどないということだ。当然消費者も、安ければ安いほどいいという風潮だ。生産財という認識は稀薄である。まさに、2、3年のうちには買い替えるもの、もしくは時代遅れになるもの、といった暗黙の了解すら感じられる。実際に、製品の性能／機能の変化も激しい。「旬の製品だから足が早い」と言ってしまうまでもだが、本当にユーザーに求められている性能であり、機能だろうかと考えてしまう。忘れてもらって困るのは、単純消費の傍らには、限りなく永久使用できるものを求めるユーザーニーズが厳然としてあることだ。

## 10 情報社会を考える その19

### 情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

政府および公共団体の情報システム開発プロジェクトに関する情報開示は、国民に解る形で実施されるべきである。いまだに単独応札、役人の天下り先入札など、不明朗な問題が多い。そんな中、スマートプラネット創出を提唱し、エクセレントカンパニーを標榜している IBM が日本ユーザー企業との間のシステム開発プロジェクトをめぐる訴訟合戦で敗訴の判決を受けた。今後の情報社会作りの根幹システム開発にも大きな影響を与えるものとして注目される。

## 14 日本再生／世界競争力回復のカギ

### 何故 M-B I M構築が必要か その14

水田 浩

復興庁が東日本大災害から復興を円滑かつ迅速に推進するためとして、平成 24 年度予算案 2 兆 0433 億円計上して、2012 年 2 月 10 日に発足した。最優先事項は「まちづくり復興特区」である。その総額は 30 兆円から 40 兆円で、国家予算並みと言われている。村井嘉浩・宮城県知事は「阪神淡路大震災との大きな違いは、まったく新しい場所に街を作

らなくてはならないところが多いということだ。逆にゼロから作れるわけだから、今から10年先の街を作らなくてはいけない。今回、やりがいがあるのは少子高齢化で人口の減少が非常に進んでいる過疎地で新しい街作りができるということだ。これは日本全国で抱えている問題だ。ここで人が元気に暮らせるような、医療、福祉過疎にならない街にできれば、モデルケースを示すことができる。」とまちづくり構想を述べている。大震災前から検討されていたコンパクトシティとこのスマートシティが統合され、日本版コンパクトシティが出来れば、投資された予算は輸出産業として回収される。それには、現在実施されている電子文書の建設CALSの電子入札、電子納品をさらに発展させ、全ライフサイクルに渡って、車を作るように全く新しいプロセスで、より早く、より安く、より良く、従来の2倍以上の生産性のインフラ産業の実施が不可欠である。

## 20 連載 アーキテクチャ論 (12)

### 3階層情報連携アーキテクチャ

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

組織に対して、これまでに多様な情報システムが提供されているが、必ずしも情報が連携されていないという問題がある。現状では、研究活動を可視化するために必要な情報サービスが部分的に個別の情報システムとして構築されているため、それぞれの情報システムが変更されたり、新たに追加されるたびにその都度、連携手順を再構成する必要があったり、組織の業務活動情報を結合するための作業が特定の組織の中で人手による運用で行われていて組織全体では利用できていないなどの問題があった。

この問題の原因は、組織における業務活動情報が異なる情報システムの中で断片的に管理されており、本来は、構成員の業務活動として一貫性があるにも関わらず、それぞれの情報システムに一度蓄積されてしまった情報を統合的に再結合できないことにある。

本稿では、組織構成員が創造・蓄積した多様な業務活動についての情報を統合するために、まず、情報システムを2階層に分類し、この階層構成に基づいて情報連携のための3階層アーキテクチャを紹介する。次に、このアーキテクチャを対象として、組織における情報連携条件を明らかにするとともに、その有効性について議論する。本手法の特徴は、3階層情報連携アーキテクチャによって、階層内だけでなく階層間でも情報連携できることを明らかにした点にある。なお、本稿の内容は、筆者が最近出版した「持続的情報連携サービス分析方法論」[1]の第3章に基づいている。

## 29 本人確認を求める SNS の魅力

### 心配するだけでは解決はない

aism

グーグル社の SNS サービスに対するポリシー変更の発表で、大きな注目を集めている SNS におけるセキュリティ問題である。実際、aism 討議でも、盛り上がった議論となっている。一私企業のネットワークサービスポリシーの変更の世界中の政府が反応するという事態にもなっている。SNS が社会的な存在である由縁であり、証左である。そのリスク回避はどうしたらできるかの議論は緒についたばかり。本人確認を求める SNS は何故登場したのかも含めて検証、吟味してみたい。

## 34 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

### 第7回 第三の創業としてのリストラクチャリング (2)

現在の日本は絶望的とも言えるほどの閉塞感の中にあると指摘する声は多い。特に1980

年代の「ジャパンアズ No1=No1 としてのニッポン」時代を知っている高齢層は、現在の閉塞感に憤りすら覚えることだろう。今さらに高齢化時代を強調してみせる訳知り顔解説人が目立つのも今日この頃だが、日本の人口構成の最大値である団塊の世代こそが、ジャパンアズ No1 を支える最下層世代であった。その団塊の世代が一線を退いた今、社会制度も抜本的な見直しが必要であるように、産業界も抜本的なリストラクチャリングが必要とされている。温故知新である。新興国にはない歴史をひもときながら、具体的には鉄鋼および造船／エンジニアリング企業 N 社の事例を通して、これからの日本再生を考えてみたい。

## 4 0 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第 3 1 回 食ベログ事件の法的規制を急げ

根本忠明

年明けに、人気グルメ比較サイトの食ベログで、やらせ代行業者 39 社によるステマ行為が発覚し大騒ぎとなった。日本は、欧米諸国に比べて、ネットでのやらせ問題への法的規制が大きく遅れている。世界中が一斉にスマホ時代に突入している今日、日本だけがステマ問題を法的に野放しにしておけば、これからの日本のスマホ・ビジネスの発展を阻害しかねない。今回の事件を契機に、欧米並みの法的規制を急ぐべきである。

## 4 4 続インテリジェンスへのいざない 27

### 今どこにいて、どこに行くのか

#### それが判らない日本の憂鬱

今井 武

日本国民が選択した政権交代だったが、東日本大震災／大津波、そして福島第一原発事故と、文字通りの波乱の連続である。日本が、日本国民が直面している試煉の時である。確かに「想定外」の自然災害がトリガーとなったことは事実だが、派生して起こった原発事故は「想定内」のものだったことが白日の下に曝されてきている。しかも不慣れな政権政党であると百歩譲ったとしても、あまりにもお粗末なお手並みに国民は辟易状態だ。基本的な生データ／事実情報の収集、インテリジェンスの創造ができていないことが根本の問題だ。

## 4 7 一味違うウェブ検索

### 第二十一話 ネタを探す方法 (4)

#### キーワードの活用

ぐうのうえぶへい

これまでネタを探す方法についていろいろ紹介してきた。今回は、このために役立つキーワードとその使い方について、紹介することにする。広大なインターネットの海底にはネタの魤脈が眠っており、魤脈を見つけるキーワードの使い方ひとつで、宝の山が見つけれられるのである。

## 5 0 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 認知される電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛セキュリティ心得
第五章 情報システムにおけるリスク	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2012年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300)  
A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300)  
A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売れない企業体質
■ ニュースリリースは東方向選別	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300)  
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米軍チーム撤退の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たなメンバー
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米軍撤退所帯と新たな組み
第五章 FJO, IBM戦争	第十五章 開港場建設とバレンタイン
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番後日誌
第八章 米軍チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、突如のエンターテインメント	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米軍チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移動

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)